

あひこ

【平和都市宣言】世界の恒久平和は、人類共通の願いである。しかしながら、今日なお世界の動きは、核戦争の危機をはらみ、誠に憂慮にたえない。わが国は唯一の被爆国として、核兵器の恐ろしさと、被爆者の苦しみを全世界の人々に訴え、再び広島・長崎の惨禍を繰り返してはならない。我孫子市は市民の生命と安全を守るため、いかなる国のいかなる核兵器に対しても、その廃絶を求め、ここに平和都市を宣言する。(昭和60年12月3日)

発行／我孫子市 編集／企画総務部秘書広報課 広報室 〒270-1192 我孫子市我孫子1858番地 ☎04-7185-1111(代表) ㊚04-7185-1520

平和の集い ～我孫子から平和を願う～

12月3日(日) 13時30分～15時45分
(開場13時)

けやきプラザホール

定員 先着500人(申込不要) 費用 無料

☎ 企画政策課・内線568



市では、平成17(2005)年度から被爆地への中学生派遣を行っています。今年度は長崎市への派遣に向けて準備を進めていましたが、直前になって台風が接近する予報が出たため、急遽、派遣先を広島市に変更しました。急な変更にもかかわらず、派遣予定の中学生全員が参加でき、子どもたちは多くのことを感じ、学んでくれたと確信しています。

今後も、戦争の記憶を風化させることなく未来につなぐため、1人でも多くの中学生を派遣し、被爆者の平和への思いを受け継ぎ、リレー講座などで次の世代に伝えてくれる子どもが増えることを願っています。

「平和の集い」では、広島派遣中学生や我孫子中学校演劇部の生徒が、戦争や原爆の恐ろしさ、平和の尊さを伝えます。会場に足を運んでいただき、子どもたちの平和への思いをお聴きください。

市長 星野 順一郎



広島派遣中学生による報告
(13時40分～14時40分)

8月10日・11日に、市内中学校の代表12人が被爆地の広島市を訪れました。現地での活動報告と感じた思いを発表します。



我孫子中学校演劇部「^{いわめいろ}不言色の蛭」
(14時55分～15時45分)

日本兵とひめゆり学徒隊の生徒の実話に基づき、特攻隊員として飛び立つ青年たちと、特攻隊員に最後に食べてもらう食事を作り続けた女性の心の交流を描いた物語です。

「平和の集い～我孫子から平和を願う～」展
(12月3日(日)まで)

- 所 ①アビシルベ(9時～18時※最終日16時まで) ②けやきプラザ(9時～19時※最終日16時まで)
- ☎ ①原爆被災写真パネルの展示(長崎原爆資料館所蔵) ②中学生広島派遣・リレー講座の紹介、作製した灯笼・平和なまち絵画コンテストの作品展示など



【リレー講座】市の平和事業として戦後70年目の平成27(2015)年に開始し、小学6年生を対象に、歴代の派遣中学生が講師となり広島・長崎市で感じたことや学んだことを伝え、平和の尊さを一緒に考える講座です。リレー講座を受けたことをきっかけに、派遣に参加した中学生もいます。 ☎ 企画政策課・内線568